

# 復興ニュース

65 号  
2012 年  
5 月 10 日

発行：NPO 法人夢ネット大船渡  
大船渡市盛町字内の目 14-15  
HP「夢ネット大船渡」と検索を  
Twitter @KesenShiminFR  
メール  
npoyumenet@bz01.plala.or.jp

## 第15回無料法律相談

- 日時
- ：5月19日(土) 14:00~16:00
- ：5月20日(日) 10:00~12:00
- 場所：三陸鉄道盛駅ふれあい待合室

震災から1年2ヶ月が経過し、皆様いかがお過ごしでしょうか。法律問題で悩んでいる方も多くあるとおもいます。

思い切って法律相談においで下さい。また、悩みを抱えている様子の方がいらっしやいましたら、ぜひ、法律相談を勧めてみてください。

盛駅ふれあい待合室までお出でになれない方は、その旨をお話ししていただければ、相談者宅まで弁護士が直接訪問し相談に応じます。事前の申し込みが必要です。

主催：NPO 法人ヒューマンライツ・ナウ 協力：NPO 法人夢ネット大船渡  
予約受付電話番号 (0192) 47-3542 (三鉄盛駅ふれあい待合室)

## リズムであそぼう♪

子育て支援ボランティアのびのび子育てサポータースマイルさんの5月の例会、「リズムであそぼう」があります。お誘い合わせてご参加ください。

問合せ先 スマイル  
代表 村上 26-2908  
事務局 菊地 27-8425

- ◆ひにち 5月21日(月)  
9:30~11:30
- ◆ところ カメリアホール
- ◆参加費 1家族 100円(保険料)
- ◆協力：大船渡市社会福祉協議会  
アレルギー支援ネットワーク

ほら吹く角には福来る?!

吹ほら吹き大会

5/27日 午前10:30~

リアスホール 入場無料

来る者にも福当てる! 入場者にも抽選で豪華賞品があります!

主催 復興ほら吹き大会実行委員会 後援 大船渡市

問合せ先 実行委員会総務課事務局  
〒020-0003 大船渡市盛町字内の目14-15  
NPO法人 夢ネット大船渡  
TEL 0192-47-3271 FAX 0192-22-7029  
J-A npoyumenet@bz01.plala.or.jp

## 復興ほら吹き大会に来てけらっせ!

～ 入場無料 来場者にも賞品(抽選)～

入場整理券(無料)配布中 配布場所は下記の通りです。

- ◆大船渡市：リアスホール・サンリア・マイヤインター店・夢商店街・三鉄盛駅ふれあい待合室・地の森八軒街
- ◆陸前高田市：川の駅よこた・マイヤ滝の里店・マイヤアップルロード店
- ◆住田町：スーパー八兆屋・ローソン世田米店・ローソン住田町店

第1部は小中高生の夢発表、第2部は復興ほら吹き大会、第3部のアトラクションは、大船渡市出身の歌手：HAMAちゃんこと浜守栄子さんが、歌ってくれます。

また、来場者へ抽選にて賞品もあります。

楽しいイベントです。昼食を持参しお出で下さい。

問い合わせ先：夢ネット大船渡 ☎ (0192) 47-3271

# 各仮設で手芸を楽しむみなさん！



4月9日三陸町綾里黒土田仮設集会所での「タオルドレス手拭」づくりの講習会。多くの参加者があり、全員完成し嬉しい笑顔で記念写真（左の写真）を撮りました。

右の写真は、4月17日



三陸町越喜来崎浜仮設集会所でのアクリル毛糸を使った「ワンピースタオル」を作りました。みんなで楽しいひと時を過ごしました。



左の写真は、4月20日末崎町大豆沢仮設集会所での「松ぼっくりリース」づくりです。男性の方（古座仁郎さん）も参加し熱心に挑戦してくれました。

支援員さんから夢ネット大船渡に「お孫さんが末崎中学校で、ボランティアに教わって作った物を見て、みんなで作りたいと話された方がいるのですが」と相談があったことにより今回の講習となりました。

右の写真は、4月23日猪川町長谷堂仮設集会所での「タオルワンピース手拭」づくりです。それぞれ特徴のある素晴らしい出来上がりでした。

夢ネット大船渡では、各仮設からの要望に応じて職員を派遣して手芸講習会を開いています。ご相談ください。



## 手芸商品の「カタログ」をつくります

手芸を内職へつなげたいとの思いで、打合せ会を行いました。参加者が少なかった（案内の仕方を反省）こともあり、広く被災者全体の希望者を支援しようとの考えから、気仙内の被災者の皆さんから情報を得てカタログを作成し、販売の宣伝を支援しようと思っています。

手芸商品カタログへ掲載希望の方はご連絡ください。写真撮影を兼ねて要望を聞きに訪問いたします。連絡先：夢ネット大船渡 電話（0192）47-3271



### プランターを使って 下権現堂仮設

猪川町下権現堂仮設では、昨年県から日差し除けとして支援されたゴーヤのプランターを使って、ホウレン草やチューリップなど、各家庭でプチ家庭菜園に取り組んでいます。なかでも特に見事なホウレン草を栽培していたのは村上セツさん(89)です。次は何を作るのですか？と聞きましたところ、セツさんは「次はキュウリです」、と笑顔で教えてくださいました。

# 低気圧でボランティアさん大変



市民ボランティアふじみ野のみなさん

連休中に夢ネット大船渡がコーディネートしたボランティアの皆様を紹介します。5月3日と4日は低気圧が原因の強風と大雨で、どこの自治体の災害ボランティアセンターも受け入れを中止したため、遠くからの方は大幅な予定変更により大変苦労しました。

## ◆北上市ボランティア連絡協議会

北上市ボランティア連絡協議会は、①日時、②行く先、③作業内容等を明らかにして全国からネットで募集していますので、突然の中止を回避するのは大変困難です。

3日は予定の大船渡市災害ボランティアセンターでの作業から、21人中4名は基石のワカメ作業へ、17人は三陸鉄道盛駅舎と車両の清掃を行って頂きました。本当に雨の中での作業ご苦労様でした。また、4日は大船渡市民文化会館（リアスホール）周辺の草取りを行いました。

担当の松田正徳さん（北上市ボランティア連絡協議会）による、突然の受け入れ中止に対応する他のニーズ探しには頭が下がる思いでした。感謝！感謝！

## ◆市民ボランティアふじみ野

埼玉県ふじみ野市の51名は、5月3日に陸前高田市でのボランティア、4日は大船渡市でのワカメ作業ボランティアを、宿泊先（3日：フレアイランド尾崎岬、4日：ホテル観洋）を予約し貸切バスで来た団体です。しかし、強風大雨のため3日の午後には三鉄盛駅の列車内で、夢ネット大船渡理事長から、津波災害の状況や防災対策、さらに夢ネット大船渡の事業等を約1時間半説明し交流を行いました。4日も大雨のため、お願いしていた漁家から、「（人数も多いため）野外での作業を予定していたが大雨のため受け入れをお断りする」と早朝に連絡を受けました。これも自然現象ですから仕方ありません。大雨等の際に他の仕事を考えておくべきと反省させられた今回の低気圧でした。埼玉から被災地支援に来て下さいました皆さん本当にお疲れ様でした。

## ボランティアさんの投稿

北上市ボランティア連絡協議会からの参加者

**安田正人さん(46歳兵庫)** 昨年、震災1カ月後に福島に入って以来、久しぶりに被災地に来ましたが、落ち着いた状況になりつつあることを実感しています。しかしながら、復旧から復興へ進むには、まだこれから大きな課題が山積みであることから、ボランティアに対するニーズもより専門的に、短期の活動から現地に長期的にかかわる必要があると考えています。夢ネット岩城さんの言うように、本当に復興するためには産業が無ければ。雇用を創出し、生活を安定させていくために、自分が力になれることを探していきたいと思います。大船渡はだいぶ復旧してきた事を感じる事が出来ましたが、陸前高田は報道を見るのと同様の厳しい状態で衝撃を受けましたが、一本松を間近に見ることが出来、今後の復興を信じたいと思います。北上ボラ連のMさん、大変お世話になり有難うございました。

**坂本めぶきさん(20歳金ヶ崎)** 皆さん明るくて、今出来ることを精一杯やっていて、とても感動しました。海水につかってしまっていて動かない電車も、中はきれいになっていました。草取りやゴミ拾いで、ストラップやボタンなど、誰かが使っていたのであろうものを拾うと、悲しくなります。どうしてこんなに大変な目に遭うのだろうというお話を聞いて、なにも答えることが出来ませんでした。今も不便な生活をおくっている人が沢山いらっしゃいます。私も、未来のために出来ることを、沢山活動しています。

**五十嵐由香さん(20歳盛岡)** 午前中は三鉄の電車内の窓拭きをさせていただきました。観光客向けの車両という事で、カーテンや人形があって、当時の面影が残っているのかなと思いました。平成23年のポスターやサッシに書かれてある落書きもそのまま、動けなくなってしまった電車のことを考えると、少し寂しい気持ちになりました。休憩所の売店の方のお話を伺いました。高校生との交流の話をして下さいました。電車も地元の方も、一歩ずつ進んでいます。その力を信じたいと思います。今日は貴重な体験を有難うございました。



SSさん(39歳東京) わかめの葉の部分と茎の部分とに分けられたものを、出荷するために15.3kgに測り、箱詰めする作業をお手伝いしました。ワカメは水抜きのため機械でプレスされていて板状になっており、それをほぐすのに初めは苦労しました。ワカメ養殖の発祥地は大船渡だそうで、先人の知恵で今この産業が続いていることを感じました。種まきや植え付けについてのお話も何う事が出来、海が畑のように思えました。箱詰めして出荷する状態まで自分の目で見られ、とても嬉しく思いました。震災で道具も何も流されてしまった方々が、また同じ土地で、同じ産業で生きてゆこうというのは、並大抵のことではないでしょう。私などにはこわくて出来ないような気がします。朗らかで柔軟な心意気を感じました。ずっと気になっていた岩手沿岸部をようやく訪問でき、北上ボラ連の活動にも感謝しています。有難うございました。



北上市ボラ連の方々、最初に三鉄盛駅ふれあい待合室で岩城理事長から歓迎の挨拶

和田滝子さん(49歳埼玉) 昨年は陸前高田市で炊き出しのボランティアをさせてもらい、今回1年経って高田の様子を見たのですが、1年経つとニーズも変わって来たようですし、天候にも左右され、今回大船渡という事で、と書いたら一本松を見せて下さるという事で…雨の中での作業でも良いと覚悟してきたのですが、ワカメ作業の方に心が揺れてしまい、ボランティアなのに仕事を選んでしまい、罪悪感で一杯でございます。が、花巻出身の私としては、やはり帰省の度には一日一善を目標に、又お盆の時に何かお手伝いしたいと考えておりますので、北上支部の方、頑張ってください。…尾崎さん宅でお昼にお茶を頂きました。3時にお茶菓子も。大きな声で言えませんが、お土産も。申し訳ありません。でも、すごーくうれしいです。

## 長洞仮設で農園づくり

大船渡最大の仮設住宅・長洞仮設(308戸)では、チャイルド・ファンド・ジャパンの支援

のもと、大船渡市から土地を借り「友結ファーム」という名の農場を立ち上げました。

農場は子供たちの遊び場がないということで周辺の草取りをし、遊ぶスペースも確保しています。猪川保育園の子供たちも遊びにくることもあるそうです。5月2日から5月6日にはチャイルド・ファンド・ジャパンのスタッフと青山学院大学の学生ボランティア達が住民達と一緒にねぎの苗植えや農具小屋作りを行いました。畑仕事が楽しくなるのはまだまだこれからですので、

たくさんの人に是非参加していただきたいです、とスタッフの合澤さんが話していました。



## 銀河鉄道の夜

- ◆ひにち 5月19日(土)  
開場 13:45 開演 14:00
- ◆ところ リアスホール(マルチスペース)
- ◆入場料: 無料

## 朗読劇

主催 明治大学理工学研究科新領域創造専攻デジタルコンテンツ系・管啓次郎研究室 協力: 大船渡市

## チームふくい 陸前高田復興支援

5月2日マイヤ滝の里店前で「ほら吹き大会」の入場整理券を配布した際、近くの「未来商店街」を訪ねてみました。その一つの店が「チームふくい」、後藤勇一氏が大幅プリンターにて看板を印刷中でした。名刺の裏には、けせん朝市・商店街復興支援、障害者施設・高齢者施設・保育園等の支援、コミュニティづくり、お地藏さんプロジェクト、大幅プリンターによる看板づくりと記載。被災後陸前高田市に入り、今年も下矢作にひまわりを植える等々お話ししてくれました。ご用の方はご相談くださいとのことでした。後藤さんのブログ <http://gogo510.net/>



この復興ニュースは、日本NPOセンターから助成を受けて発行しています。イベント等の情報をお知らせください。発行日は毎月10日と25日です。掲載できるイベントは発行日から1週間以降の開催のものです。原稿は発行日の4日前までにFAX等でお知らせ下さい。